令和6年度 第2回熊毛海区漁業調整委員会

議事録

1 日程等

- (1) 日 時：令和6年6月13日（木）午前11時00分～午前11時23分
- (2) 場 所：熊毛支庁第2会議室（西之表市）
- (3) 出席者：別紙のとおり

2 議事内容及び結果

- (1) まさば対馬暖流系群及びごまさば東シナ海系群に関する令和6管理年度における知事管理漁獲可能量の設定について（諮問）
→ 原案のとおり定めることが適当である旨答申することに決定。
- (2) 全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の提出議題について（協議）
→ 原案のとおりとすることに決定。
- (3) まあじに関する令和6管理年度における知事管理漁獲可能量の運用について（報告）
→ 報告事項について了承した。

令和6年度 第2回熊毛海区漁業調整委員会出席者名簿

令和6年6月13日(木) 午前11時00分～

1 委員

氏名	区分	出欠
伊東 恭三郎	漁業者・漁業従事者	出席
奥村 洋海	漁業者・漁業従事者	出席
森田 忠寛	漁業者・漁業従事者	出席
濱崎 一成	漁業者・漁業従事者	出席
川東 守昭	漁業者・漁業従事者	出席
久賀 みず保	学識経験者	出席
久米 元	学識経験者	出席
稲盛 重弘	中立	出席
八板 俊輔	中立	出席

出席 9

欠席 0

2 事務局

職名	氏名
事務局長 (林務水産課長)	中津濱 康熙
次長 (水産係長)	柳 宗悦
書記 (水産係 水産技師)	赤塚 麻美

令和6年6月13日午前11時00分開会

【開会】

○柳次長

みなさんお疲れ様です。

それでは定刻となりましたので、令和6年度第2回熊毛海区漁業調整委員会を開催いたします。

座って説明させていただきます。

本日は鹿児島在住の委員の方は、WEB会議システムによる出席となります。

どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日は8名の出席の予定をいただいておりますけれども、先ほど久賀委員から出席可能との連絡がありましたので、合計9名の出席となります。

現在、準備しております出席者名簿に、久賀委員の追記をお願いいたします。

また、本日は、事務局として、県水産振興課の漁業監理係 保科技術主査が出席しております。

それでは、委員会を開会いたします。

本日の議題は、会次第に示しておりますとおり、「まさば対馬暖流系群及びごまさば東シナ海系群に関する令和6管理年度における鹿児島県知事管理漁獲可能量の設定について（諮問）」他計3件となります。

それでは、開会にあたりまして、会長職務代理者の伊東委員がご挨拶を申し上げます。

○伊東委員

皆様こんにちは。

会長職務代理者の伊東でございます。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

今後ともひとつよろしくをお願いいたします。

○柳次長

ありがとうございました。

それでは議事に入らせていただきますが、座長につきましてですが、熊毛海区漁業調整委員会事務規定第4条の第2号によりまして、会長が欠けた際は職務代理者が会務を総理することとなっておりますので、伊東委員よろしくお祈いします。

○伊東委員

はい。

それでは座長を務めさせていただきますので、議事の円滑な進行にご協力をお願いいたします。

なお、熊毛海区漁業調整委員会事務規定第8条によりまして、発言の際は挙手の上、座長の許可を得てから行うようにお願いします。

議事に入ります前に、今回の委員会の議事録署名者を、私の方から指名させていただ

いてよろしいでしょうか。

○委員一同

はい。

○伊東委員

それでは、今回は浜崎委員と久米委員を指名いたしますので、よろしくお願いします。

それでは、議事に入ります。

議題1「まさば対馬暖流系群及びごまさば東シナ海系群に関する令和6管理年度における知事管理漁獲可能量の設定」について、事務局からの説明をお願いします。

○保科技術主査

はい。

それでは資料1に基づきまして説明をさせていただきます。

座って説明いたします。

資料の1ページ目をお願いします。本案件は諮問事項でございますので、諮問事項をつけてございます。

1ページを読み上げます。

水振第168号、令和6年6月13日（水産振興課扱い）、熊毛海区漁業調整委員会会長様、鹿児島県知事、まさば対馬暖流系群及びごまさば東シナ海系群に関する令和6管理年度における鹿児島県知事管理漁獲可能量の設定について（諮問）

このことについて、本県の知事管理漁獲可能量を別紙1のとおり定めたいので、漁業法第16条第2項に基づき貴委員会の意見を求めます。

また、同管理年度における知事管理漁獲可能量の変更について、別紙2の取り扱いとしたいので、同条第5項において準用する第2項に基づき貴委員会の意見を併せて求めます。

それでは資料の2ページ目をお願いします。

資料2ページ目が別紙の1番となっております。

令和6管理年度における漁獲可能量の設定についてまとめたものになります。

まず本県に配分された漁獲可能量は、1に記載のあるとおり15,000トンが配分されております。

2に配分を記載してございます。

配分方法については県の資源管理方針の別紙1-6に記載がございましたので、それに基づいて、配分いたしております。

具体的には、漁獲可能量のうち、おおむね9割を当該管理年度の前々年度、つまり令和6管理年度の前々年度ですので、令和4年ですね、令和4年までの3ヵ年間の漁獲実績の平均値の比率に応じて、それぞれの知事管理区分に案分し、残りをおおむね1割を県留保枠とするとしております。

表に令和2年から令和4年までの漁獲量、そして平均比率を記載してございます。

こちらにありますとおり、令和2年から4年までの平均値はまき網まさば及びごまさば漁業において平均が6,325トン、その他漁業において834トンとなっております、比率は、まき網が88.4%、その他漁業が11.6%となりました。

こちらを配分された15,000トンにそれぞれ案分しまして、まき網が11,900トン、その他が現行水準として目安数量を1,600トン、県留保枠1,500トンというふうな設定案を検討いたしました。

今後の予定については、関係漁業調整委員会へ諮問、そして答申いただいた後ですね、農林水産大臣の承認を経て、県公報により告示する予定としております。

それでは続いて3ページ目をお願いします。

3ページ目が別紙2となっております、この令和6管理年度の変更方法について諮問いたすものです。

内容としましては前回の委員会で、県の資源管理方針において、柔軟な管理体制の運用させていただきという内容を諮問させていただいたものですが、そちらについて具体的に説明するのが、この別紙2となっております。

まず背景ですが、県の資源管理方針別紙1、こちらにまさば、ごまさばの記載がございますが、その第3において、下の少し字が小さくなっておりますが、こちらのとおり記載されておまして、数量管理の柔軟な運用があるために、具体的な取り扱いをこちらで諮りたいという内容となっております。

下の抜粋の部分ですが、第3 おってから報告するものとする。という第1段落については、これまで通りの記載となっております。

第2段落のまた、以下がですね、前回の委員会で諮問させていただいて追記したのになります。

読み上げますと、また、県内知事管理区分間や他県等との融通により知事管理漁獲可能量に変更される場合は、予め鹿児島及び熊毛海区漁業調整委員会に意見を聴いて定めた方法により、知事管理区分の配分量を変更するものとし、変更後に開催される鹿児島及び熊毛海区漁業調整委員会に報告するものとする。としております。

今回はあらかじめ意見を聴いて定めた方法について、伺うものになります。

2の具体的な取り扱いをお願いします。

まずパターンとして考えられるのは、(1)～(3)までの3パターンを検討しております。

まず(1)本県への追加配分または他県からの融通を受ける分、こちらは鹿児島県が受ける側のパターンとなっております。

まず、当初に漁獲可能量を管理区分ごとに案分した比率で、追加配分された数量を配分します。

そして現行水準についても同様に目安数量にも追加をするという内容となっております。

続いて(2)、他県へ融通する場合ですね、こちらは本県から他県、もしくは本県内で漁獲可能量を動かすときの扱いとなっております。

配分を受ける者の合意があった場合、つまりこれは県内で漁獲可能量の配分を受けるまさば、ごまさまでいいますとまき網が該当しますが、配分を受けるものの同意があ

った場合、当該配分から合意のあった数量を減じ、県留保枠に移し替えた後、農林水産大臣へ届け出るとさせていただきます。

そしてその後、国による手続き後に融通が成立すると、そういった段取りになります。

最後に鹿児島海区委員会の報告ですが、(1)、(2)により変更した場合は、県のホームページそして県の公報により、遅滞なく公表いたします。

そして変更後に開催される鹿児島及び熊毛海区漁業調整委員会に報告すると、そういった流れをさせていただきたいと思えます。

ただいま説明しました、取り扱い以外の変更がもしございましたら、その際は鹿児島及び熊毛海区漁業調整委員会で意見を聞いてから変更を行うと、そういった取り扱いとさせていただきたいと考えております。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(伊東委員)

ただいま事務局から説明に対してご質問やご意見等ございませんか。

○委員一同

なし。

○伊東委員

議題1「まさば対馬暖流系群及びごまさば東シナ海系群に関する令和6管理年度における鹿児島県知事管理漁獲可能量の設定について」、原案の通り定めることを適当として答申してよろしいですか。

○委員一同

意義なし。

○伊東委員

それではそのように答申することに決定します。

続きまして、議題2「全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の提出議題について」事務局から説明をお願いします。

○赤塚水産技師

はい。

それでは議題2について協議事項としてご説明させていただきます。

資料の右肩に2と書かれているものをご準備ください。

1ページをご覧ください。

こちらにですね、全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の提出議題案にかかる概要を示しております。

まず1の手続きの流れについてですけれども、まず初めに、今回協議する提出議題は、来年度、令和7年度の要望事項となります。

例年ですね、以下の手続きを経ています。

アの部分ですね。連合会事務局案を作成し、各海区事務局へ委員会協議を依頼されているというのが今の時点です。

イ各海区漁業調整委員会を開催し、協議決定後、連合海区へ回答するということになっております。本日の協議は、このイに該当します。

ウの部分ですね、各海区の回答を受け、連合海区を開催し最終決定を行うという流れになっております。

提出議題案について説明申し上げます。

2番目の項になります。

まず1つ目が大中型まき網漁業及び沖合底びき網漁業における操業禁止区域の見直し拡大等について、こちらが継続となっております。

2つ目が、日中漁業協定等に基づく外国船の操業条件等の堅持について、こちらも継続です。

3つ目ですね、太平洋クロマグロの資源管理強化に伴う経営安定対策の推進についてというものです。

この3つを事務局案としております。

こちらの3つの議題につきましては、例年要望しておりまして、今年度も継続要望するという流れとなっております。

3つ目の協議内容ですね。

提出議題案について、このとおり継続要望するかどうかに加えて、九州ブロック会議において話題提供や議論すべき項目、国への新規要望事項について、ご協議をお願いしたいと考えております。

2ページにですね、鹿児島県連合会漁業調整調整委員会事務局から依頼があった文章をつけております。3ページから5ページにかけて各要望の詳細、6ページは要望に関する留意点をつけております。

7ページ以降につきましては、今年度、提出された要望書を添付しております。

後程、お目通しいただきますようお願いいたします。

事務局からの説明は以上になります。

よろしく申し上げます。

○伊東委員

ただいまの事務局から説明に対してご質問やご意見等はございませんか。

○委員一同

なし。

○伊東委員

それではご意見もないようですので、事務局案の通り、全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の議題を提出します。

次に、議題3「まあじに関する令和6年度における知事管理漁獲可能量の運用につい

て」事務局からの説明をお願いします。

○保科技術主査

はい。

それでは資料3に基づいて説明いたします。

めくっていただいて、1枚目に資料がございます。

今回報告させていただく内容は、まあじに関する知事管理漁獲可能量の変更があったということで、そちらに報告するものです。

1 変更理由ですが、まあじを活用する対馬系の島根県から鹿児島県まで複数県が関わっているのですが、こちらの関係者合意が得られまして、これに基づいて国留保枠から追加配分をいただいたという内容になっております。

この関係者合意の内容ですが、いずれの県、機関においても漁獲可能量が積みあがっている状況ではなかったのですが、盛漁期を迎える前に早めの配分を受けようということで議論がなされまして、それが成立して追加配分にいたったという経緯がございます。

本県に配布された追加漁獲可能量としましては、500トン。もともと3300トンあったものが、500トン加わりまして3,800トンとなりました。

こちらの配布については3に記載がございますが、県の資源管理方針に基づきまして概ね9割を当該年度の前々年度までの3か年、令和2年から4年の3か年ですが、これの平均値の比率に応じて、それぞれの知事管理区分に案分し、残り概ね1割を県留保枠に配分したと。このルールに基づいて今回も配分しております。

参考まで2年から令和4年までの漁獲実績・配分比率については、一番下の表にございますので、ご確認ください。

この案分をしましたところ、まき網については、変更後の数字ですが、2450トン、その他漁業については、現行水準、目安数量として970トン、県留保枠380トンという結果となっております。

本内容につきましては、5月21日付で県公報で告示済みとなっておりますので、あわせてご報告いたします。以上で説明を終わります。

○伊東委員

ただいまの水産振興課の説明に対して、ご質問やご意見等はございませんか。

○委員一同

なし。

○伊東委員

それではご意見もないようですので、この件は終了いたします。

本日の付議事項は以上となりますので、議事を終了いたします。

その他、皆様からご意見ご質問等はございませんか。

○委員一同

なし。

○伊東委員

それではないようです。

事務局の方から何かございませんか。

○柳次長

はい。

特にございません。

○伊東委員

はい。

それでは他にないようですので、私の役目を終わります。

ご協力ありがとうございました。

○柳係長

ありがとうございました。

以上をもちまして令和6年度第2回熊毛海区漁業調整委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

令和6年6月13日午前11時23分閉会